

【用法・用量】

通常、成人1日50～2000mgを1～数回に分けて経口投与する。
なお、年齢・症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

胃腸：悪心・嘔吐、下痢等の症状があらわれることがある。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

- (1) 各種の尿糖検査で、尿糖の検出を妨害することがある。
- (2) 各種の尿・便潜血反応検査で、偽陰性を呈することがある。

【取扱い上の注意】

本剤は還元性、キレート性が強く、配合変化を起こしやすいので注意を必要とする。

内袋：PET
外装フィルム：PVC
蓋：PP
匙の袋：PP
乾燥剤の袋：PP



容器本体は「缶（鉄）」です。

(0805) A

日本薬局方 アスコルビン酸

アスコルビン酸「ヤマゼン」M (ビタミンC)

Ascorbic Acid "Yamazen" M



製造販売元
山善製薬株式会社
大阪市中央区道修町2丁目2番4号

2008年5月改訂

〈貯法等〉

気密容器 遮光保存 室温保存

日本標準商品分類番号 87314

承認番号 16000AMZ06464000

薬価収載 1969年5月

販売開始 1969年5月

再評価結果 1977年5月

ビタミンC剤

【組成・性状】

本品1g中、日本薬局方アスコルビン酸1gを含有する。

本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、においはなく、酸味がある。
本品は水に溶けやすく、エタノール(95)にやや溶けにくく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。

【効能・効果】

- ビタミンC欠乏症の予防および治療(壊血病、メルレル・パロー病)
- ビタミンCの需要が増大し、食事からの摂取が不十分な際の補給(消耗性疾患、妊産婦、授乳婦、はげしい肉体労働時など)
- 下記疾患のうち、ビタミンCの欠乏または代謝障害が関与すると推定される場合(効果がないのに月余にわたって漫然と使用しないこと)
毛細管出血(鼻出血、歯肉出血、血尿など)、薬物中毒、副腎皮質機能障害、骨折時の骨基質形成・骨癒合促進、肝斑・雀斑・炎症後の色素沈着、光線過敏性皮膚炎

製造番号

使用期限

3.08.05